



第4章

施策の推進の視点

第4章 施策の推進の視点

第3章に掲げた教育の姿と子ども像を目指し、木津川市の教育の基本理念を実現するためには、今後様々な施策を推進していかなければなりません。

同時に、生涯にわたって基本理念を活かし続けるためには、木津川市生涯学習推進計画との関連を図る必要があります。

そこで、教育の振興に向けた施策すべてに共通して持つべきものとして、次の3つの視点を掲げるとともに、生涯学習との関連を明確にします。

視点1 子どもの将来を見通す

子どもの発達の段階に合わせて、計画的・系統的・継続的な教育を進めるためには、基本的な学びの場である園や学校の校種を越えた縦のつながりと、園・学校間の横のつながりが求められます。

また、教育は学校教育だけで終結するものではなく、生涯を通じて学び続けることで、自らを高め、豊かな生活を送るとともに、社会に貢献できるものです。

それらのための体制や条件整備を進めていく必要があります。

視点2 木津川市全体で守り育てる

子ども一人一人が質の高い学力を身に付け、豊かな心を持ち、人や社会とのつながり、健やかに成長するためには、園、学校、家庭、地域社会、行政が、協働しながらそれぞれの役割と責任を果たし、社会総がかりで取り組むことが必要です。

それぞれの持ち味を適材適所に活かすことで、学びの深まりと感動をもたらし、学習効果を高めます。

園や学校は、そのハブ（拠点）としての機能を発揮し、裾野の広い教育を進める必要があります。

視点3 木津川市の特色や地域資源を活用する

木津川市には、多くの国宝や重要文化財が残されています。こうした遺産に接することは、ふるさと“木津川市”を知り、愛着と誇りを持つ心を育てます。

また、木津川市には、豊かな自然に生まれ、発展・伝承されてきた伝統産

業や関西文化学術研究都市に代表される最先端の科学技術を誇る企業や研究所があります。

これらの新旧の文化的科学的資源を有効に活用するとともに、それらを融合させ、木津川市ならではの教育を展開していく必要があります。

生涯学習推進計画との関連について

生涯にわたって学び続ける意欲と態度をはぐくむためには、学校教育と社会教育が同様の視点を持って、それぞれの施策を推進していかなければなりません。

また、いきいきとたくましく生きるための基盤としての健康や体力を生涯維持していくためには、幼少期の楽しく体を動かす習慣を身に付けさせるための取組から、生涯にわたってスポーツを学び楽しむ習慣を持たせる取組までの関連を図っていかなければなりません。

これらを踏まえて、木津川市教育振興基本計画における様々な施策は、木津川市生涯学習推進計画との関連を十分に図る必要があります。

基本理念

生きる力をはぐくみ
新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して

目指す子ども像

共に「学び」「喜び」「成長し」未来を力強く生きる子ども

重点目標

- 1 質の高い学力をはぐくむ
- 2 豊かな心と規範意識をはぐくむ
- 3 健やかな体をはぐくむ
- 4 一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ
- 5 社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ
- 6 魅力ある・信頼される学校・園をつくる
- 7 地域の力を活かして子どもをはぐくむ
- 8 地域を学び、郷土を大切に作る心をはぐくむ

目指す教育の姿

子どもの力を伸ばし、
未来に向かって生きる
力をはぐくむ

一人一人が輝き、社会
の一員としての基盤を
はぐくむ

木津川市の力を結集し、
みんなで守りはぐくむ

- 視 点1 子どもの将来を見通す
視 点2 木津川市全体で守り育てる
視 点3 木津川市の特色や地域資源を活用する